



令和8年3月

令和7年度

---

---

# 学校評価

---

---

## 1 学校の自己評価

- (1) 「教職員アンケート」の結果と考察
- (2) 「保護者アンケート」の結果と考察
- (3) 「児童アンケート」の結果と考察
- (4) 学校の自己評価の結果と改善策

## 2 学校関係者評価

- (5) 学校関係者評価書

昭和町立押原小学校



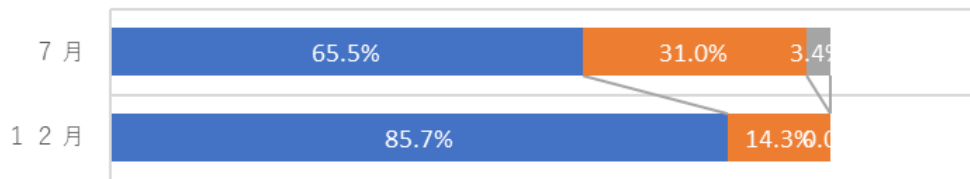
# I 学校の自己評価

# (1)「教職員アンケート」の結果と考察

## 1. 学校教育目標・学校経営について

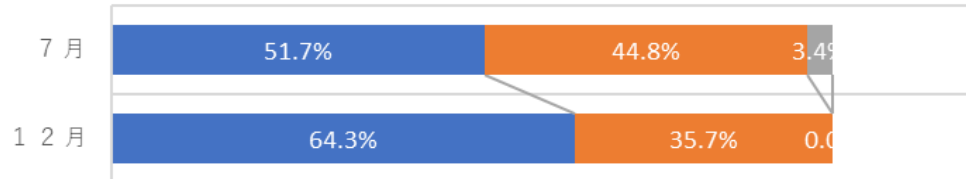
あなたは、学校経営方針に基づき、  
教育活動を行っている。

■ 4 そう思う ■ 3 だいたいそう思う ■ 2 あまりそう思わない ■ 1 そう思わない



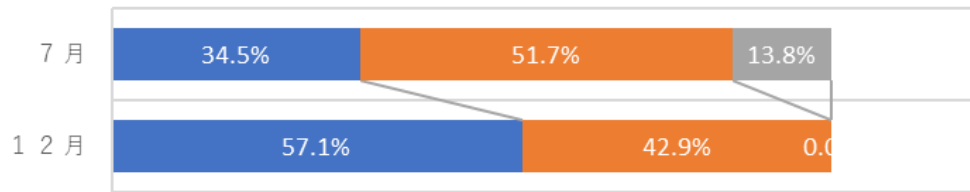
あなたは、学校の教育活動計画に基づき、  
実態に即した教育実践を行っている。

■ 4 そう思う ■ 3 だいたいそう思う ■ 2 あまりそう思わない ■ 1 そう思わない



あなたは、PDCAサイクルを生かした教育活動を行っ  
ている。

■ 4 そう思う ■ 3 だいたいそう思う ■ 2 あまりそう思わない ■ 1 そう思わない



### 学校教育目標・学校経営について【意見・感想】

- ・まずは教師が笑顔で児童に接することを大切にしたいです。
- ・6年間を見据えて教育活動に努めたいと感じています。
- ・学校教育目標をもとに、学年目標や学級目標を設定し学級経営を行いました。他の職員との情報共有や連携した指導を意識しました。
- ・様々なことにおいて、しっかりと共通理解を図りたい。また、校務分掌において、それぞれの役割の人に責任をもってやってもらいたい。その2点において、伸びや支障が生じたことがいくつもありました。
- ・CS推進校として、押杜っ子クラブなどに取り組み、地域と共に歩む学校について実践を積み重ねることができていると思う

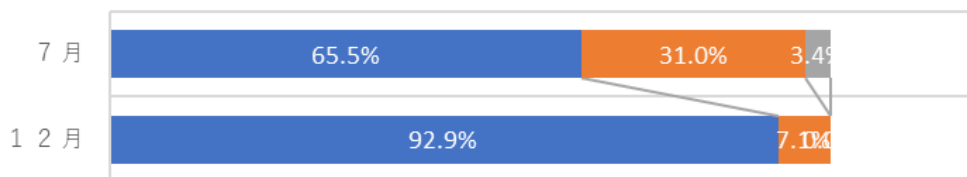
### 学校教育目標・学校経営について【まとめ】

肯定的な評価が多く、1年間を通して、学校教育目標・学校経営方針を各自が意識しながら教育活動を行ってきたことがうかがえる結果となった。前期よりも後期の方が肯定的な回答が増えていることから、より、各職員が意識して職務に当たったと考えることができる。学校教育目標は、押原小の教育を進めていく上での拠り所となる大切なものであるため、PDCAサイクルを生かした教育実践は、すべての活動に通じる大切な考え方であるため、今後、成果をチェックし(C)、次年度につなげていく(A)ことができるよう、3学期をまとめの学期として位置づけ、次年度の押原教育がより充実したものとなるように、教育要綱や教育課程の作成、年間行事予定の編成をしっかりと行っていきたい。

## (1) 安全・安心の保障 ○生徒指導について

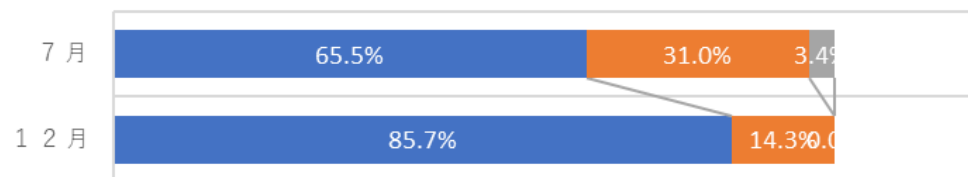
あなたは、児童理解のために児童及び関係者とコミュニケーションを図っている。

■ 4 そう思う ■ 3 だいたいそう思う ■ 2 あまりそう思わない ■ 1 そう思わない



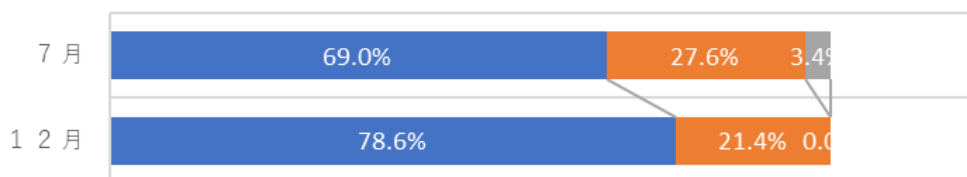
あなたは、問題行動（いじめ・不登校等）の早期発見・早期対応に努めている。

■ 4 そう思う ■ 3 だいたいそう思う ■ 2 あまりそう思わない ■ 1 そう思わない



あなたは、教職員間で生徒指導上の課題の共有を行っている。

■ 4 そう思う ■ 3 だいたいそう思う ■ 2 あまりそう思わない ■ 1 そう思わない



### 学校教育目標・学校経営について【意見・感想】

- ・中休みの怪我を未然に防ぐために、定期的に児童に呼び掛けは必要だと思います。
- ・安全・安心の保障を第一とし、笑顔を大切に指導にあたっている。
- ・早期発見と対応が行われているとおもいます。
- ・4月当初の確認が大事であると思います。
- ・学年の職員との連携した指導を意識して行ってきました。
- ・終礼後の児童理解で、児童のことについて共通理解すべきことをきちんとどの担任も出してもらいたい。児童の配慮すべきことを知らずに対応してしまうというのを防ぎたい。
- ・風通しの良い職場環境なので、情報共有は密に行うことができていると思います。
- ・学校へ気持ちが向かない児童への個別の対応を考え、生徒指導を行っている。

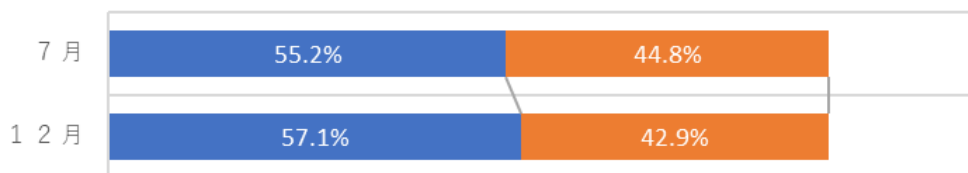
### (1) 安全・安心の保障 ○生徒指導について【まとめ】

「安心・安全」な学校をめざし、職員一丸となって取り組んできた。生徒指導に関しても同様で、児童が違いを認め合い、お互いを尊重しようとする態度の育成を目指す「発達支持的生徒指導」、道徳や学級活動等においていじめ等を起こさせないという意識を高める「課題未然防止教育」を日常の教育活動の中で大切にしてきた。先行的な生徒指導を心がけてきたことが自己評価にも表れている。さらに、日々の児童理解や、情報交換、定期的ないじめアンケートを通して、早い対応を行ってきた。また、担任一人で問題を抱え込むことがないよう、学年主任を中心に学年全体で同一歩調で生徒指導に取り組んだ。学級の課題を全体で確認しながら、学校全体で対応していくことが、「安心・安全」な学校づくりに欠かせないことであると考えます。

## (1) 安全・安心の保障 ○安全指導について

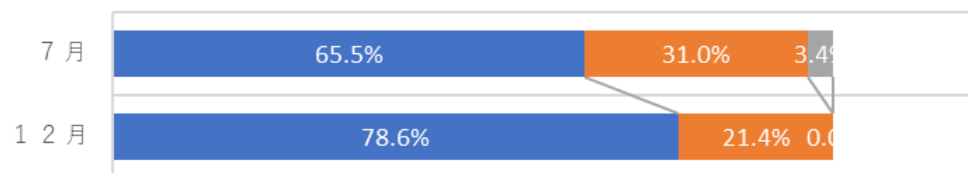
あなたは、児童の安全な登下校のために安全指導を行っている。

■ 4 そう思う ■ 3 だいたいそう思う ■ 2 あまりそう思わない ■ 1 そう思わない



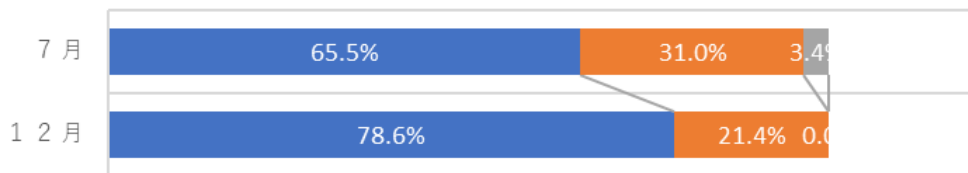
あなたは、災害や犯罪発生を想定した指導を行っている。（避難訓練・防犯訓練等）

■ 4 そう思う ■ 3 だいたいそう思う ■ 2 あまりそう思わない ■ 1 そう思わない



あなたは、感染症及び熱中症予防の対策に適切に取り組んでいる。

■ 4 そう思う ■ 3 だいたいそう思う ■ 2 あまりそう思わない ■ 1 そう思わない



### 学校教育目標・学校経営について【意見・感想】

- ・登下校中に道に広がらない等の声掛けは継続して行いたいです。
- ・落雷危惧される時の引き渡し方法の効率化を考えた方が良いと思う。
- ・安全な登下校のため、問題があった場合は管理職に報告し、対応している。
- ・適切に行っているとおもいます。
- ・学校全体でタイムリーに問題に対応していると思います。
- ・児童が安心して生活を送れるよう、事前に危険を想定した指導を行ったり、訓練後の指導も行った。
- ・来年度に向けて、CSDAYの振り返りをし、引き渡し訓練を計画する必要がある。
- ・意識して指導していると思います。
- ・学校全体で共通理解をすることが大切だと思います。その意味で校長先生や教頭先生からの話が指針になっていると感じます。
- ・全校で取り組む避難訓練だけでなく、日常的に安全・安心に対する言葉かけや指導を意識して行っている。

### (1) 安全・安心の保障 ○安全指導について【まとめ】

安全指導については、月1回の安全指導日の設定、地震や水害を想定した避難訓練の実施等、計画的な指導を継続したことが、評価につながったと考えられる。また、「押杜っ子を守る会」を中心とした地域とともに登下校を見守る活動が継続的に行えていることも、安全指導の成果と言える。熱中症予防や感染症対策に関しては、救急搬送等の大きな事故や学級閉鎖等の処置を行うまでの感染拡大も今のところはなく、養護教諭を中心に家庭の協力を仰ぎながら適切に取り組むことができた。今年度は、急な雷雨により下校を中止し、保護者のお迎え・引き取りをお願いすることがあった。急な事象にも適切に対応できるよう、危機管理マニュアルの見直しも含め検討を重ねていきたい。

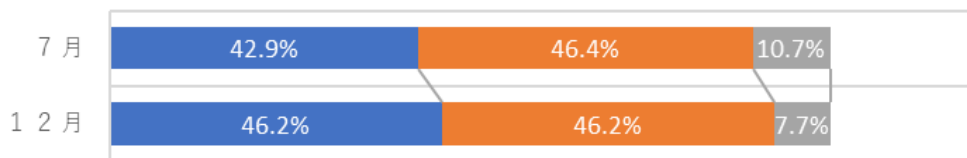
## (2) 学力向上対策

○学習指導について ○多様な学習と質の高い授業の実践について

## (5) 道徳教育の推進

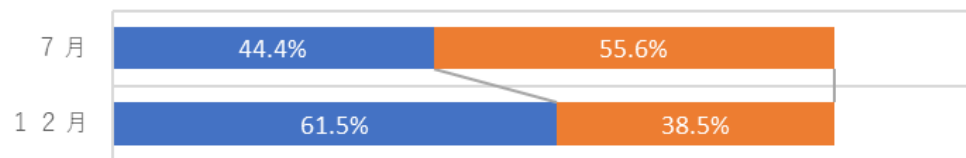
あなたは、児童主体で規律ある  
学級・学年・学校集団づくりを行っている。

■ 4 そう思う ■ 3 だいたいそう思う ■ 2 あまりそう思わない ■ 1 そう思わない



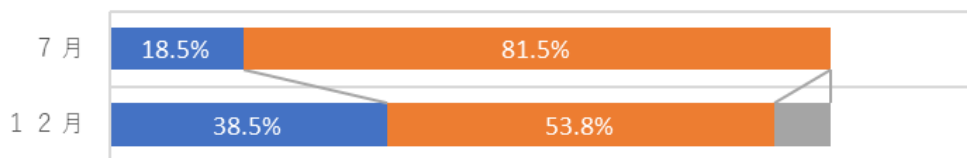
あなたは、基礎・基本の定着を図る  
授業を行っている。

■ 4 そう思う ■ 3 だいたいそう思う ■ 2 あまりそう思わない ■ 1 そう思わない



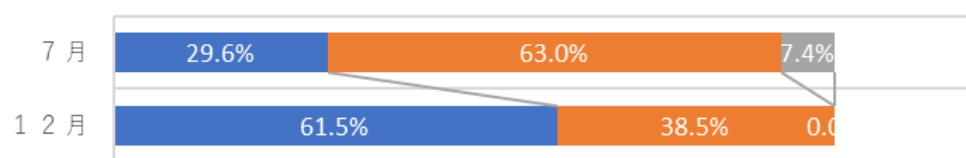
あなたは、思考力や表現力などを高める授業に  
努めている。

■ 4 そう思う ■ 3 だいたいそう思う ■ 2 あまりそう思わない ■ 1 そう思わない



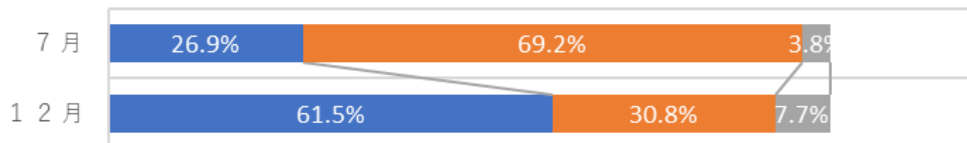
あなたは、児童の道徳的実践力を高める  
授業を行っている。

■ 4 そう思う ■ 3 だいたいそう思う ■ 2 あまりそう思わない ■ 1 そう思わない



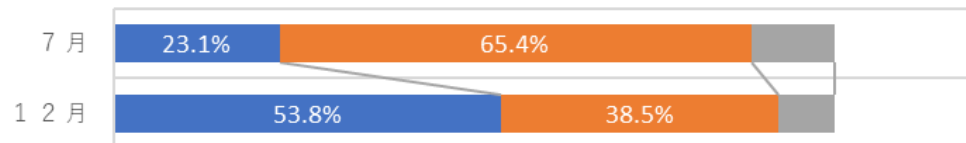
あなたは、児童の体力向上や健康の保持増進のための  
指導を行っている。

■ 4 そう思う ■ 3 だいたいそう思う ■ 2 あまりそう思わない ■ 1 そう思わない



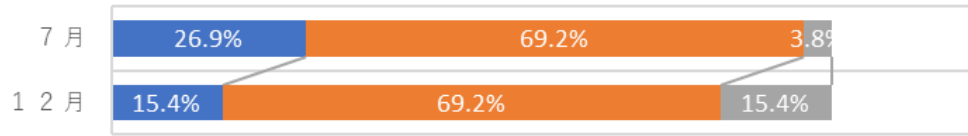
あなたは、家庭学習について  
家庭と連携を図っている。

■ 4 そう思う ■ 3 だいたいそう思う ■ 2 あまりそう思わない ■ 1 そう思わない



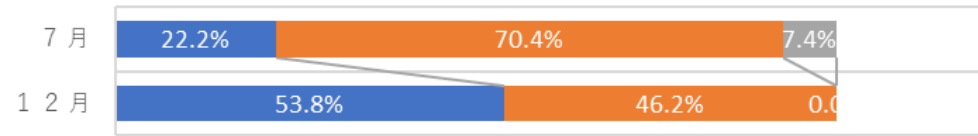
あなたは、児童用タブレット・電子黒板等の  
電子機器を活用した授業を行っている。

■ 4 そう思う ■ 3 だいたいそう思う ■ 2 あまりそう思わない ■ 1 そう思わない



あなたは、個に対応したきめ細かな指導を  
行っている。

■ 4 そう思う ■ 3 だいたいそう思う ■ 2 あまりそう思わない ■ 1 そう思わない



### 学校教育目標・学校経営について【意見・感想】

- ・児童の実態から学習指導や道徳教育で困難な面もあるが、成長につながる工夫をしていきたいと思えます。
- ・学力差がありながらも、個人の実態に合わせて課題の提示を行ったり学び合いの時間を設定したり工夫しました。
- ・①の「児童主体で規律ある学級、学年、学校集団づくり」とは何かを共通理解したい。
- ・学力は個人差があり、個別の対応をするのに人手が欲しいです。
- ・学びの土台となる学級経営に力を入れながら、日々の授業を振り返り改善を行っていききたい。
- ・質の高い授業を目指して、日々教材研究の時間を確保して行いたい。
- ・特別支援は個人差があり一人で数人の個別対応するのは大変なので、支援に入って欲しい。
- ・個に応じたきめ細やかな指導を行うために、日頃の児童理解に努めたいと思う。

- ・個に応じた指導と支援を一層考えて行きたいと考えます。
- ・校内研究会を通して、児童同士が学び合う主体的な姿にふれ、アプローチを広げることができました。
- ・丁寧な児童理解をもとに、ICTを活用しながら、個に応じたきめ細かな指導を行いたい。
- ・予想や結果からわかったことなどをスプレッドシートなどの共同編集機能を使って、同時にみんなで意見を入力することで、普段発言が苦手な児童の意見を見ることができたり、短時間に多様な意見に触れられたりするので、利用価値を感じた
- ・準備の点で熟慮する余地があると思います。
- ・高学年の算数のTTがないことが苦しい。
- ・一斉の授業が基本なので、ペアやグループを使って、児童に考える場面を意図的に作っていききたいです。
- ・児童の実態に合わせて、使っています。

## (2) 学力向上対策

### ○学習指導について

### ○多様な学習と質の高い授業の実践について

## (5) 道徳教育の推進【まとめ】

学級、学年等の集団づくりに関して、肯定的な回答が向上した。今年度、校内研の一つの柱として、武蔵野大学の渡辺先生を講師に集団づくりについて、学習会を開いたことも意識の向上につながったと考えられる。思考力や表現力を高める授業に関しては、思い描いていたような結果とならなかったのか、「あまりそう思わない」の回答が見られる。教師が自身の知識を伝達するだけの授業では、思考力・表現力の育成はできないので、常に指導力の向上を心掛け、校内研究でも引き続きテーマとしていく必要があるかもしれない。また、一人一台端末の活用についても、課題が見られる結果となっているので、この点についても教師のリテラシーの向上が求められる。道徳教育については、継続した授業実践を積み重ね、道徳的実践力を高めてきた。道徳の授業を基盤として豊かな人間性をはぐくむことを目指し、今後も取り組みを続けていきたい。家庭学習については、取組の継続により、児童にも家庭にも浸透してきていることがうかがえる。押原小の家庭学習のスタイルで、次年度も継続して取り組んでいきたい。

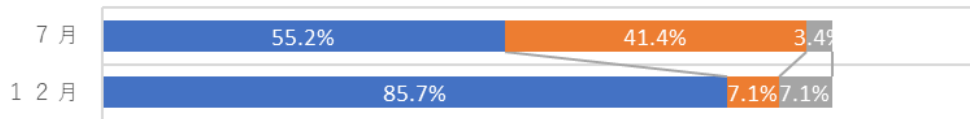
### (3) 地域と共に歩む学校

### (4) 魅力ある学校づくり

○保護者や地域の人々と参画・協働・熟議・互惠を基調とした開かれた信頼される学校の創造について

あなたは、学年便りや連絡帳、電話連絡等を活用し、家庭・地域との、よりよい信頼関係づくりに努めている。

■ 4 そう思う ■ 3 だいたいそう思う ■ 2 あまりそう思わない ■ 1 そう思わない



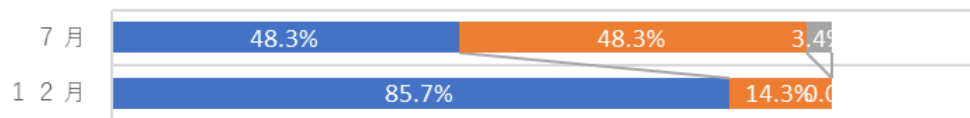
あなたは、授業参観や家庭訪問等をとおして、保護者と相互に理解を深めたり、課題を共有したりする機会にしている。

■ 4 そう思う ■ 3 だいたいそう思う ■ 2 あまりそう思わない ■ 1 そう思わない



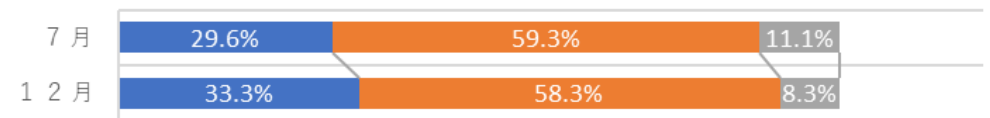
あなたは、保護者の意見や要望に対して適切に対応している。

■ 4 そう思う ■ 3 だいたいそう思う ■ 2 あまりそう思わない ■ 1 そう思わない



あなたは、地域の人材や素材を授業に活かそうとしている。

■ 4 そう思う ■ 3 だいたいそう思う ■ 2 あまりそう思わない ■ 1 そう思わない



#### 学校教育目標・学校経営について【意見・感想】

- ・保護者対応は、迅速かつ丁寧を心掛けて取り組みたいです。
- ・地域でやってもらうこと、学校でやるべきことの仕分けをしていきたい。
- ・家庭科の実習に地域の方々や保護者がサポートしてくださり、ありがたかったです。
- ・引き続き、連絡帳や電話連絡をとおして、よりよい関係性を築いていきたい。

- ・保護者との信頼関係を築くために、引き続き電話や連絡帳等を活用していきたい。
- ・地域人材の発見に心がけるなど、努力していきたいと思います。
- ・PTA役員が重なって4月の部会に出席できなかったという声を複数いただきました。役員決めをする地区懇談会のときに周知できるとよいと思います。4月の学年部会と専門部会を同時に行わないようにしていただきたいと思います。

### (3) 地域と共に歩む学校

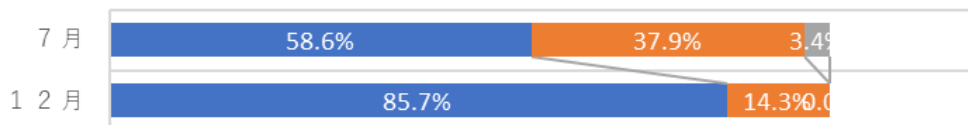
### (4) 魅力ある学校づくり ○保護者や地域の人々と参画・協働・熟議・互惠を基調とした開かれた信頼される学校の創造について【まとめ】

12年目となるコミュニティ・スクールを核とした学校づくりにより、地域や保護者との連携・協働が図られて来た。これは、押原小学校の強みである。今年度のCS活動を次年度も継続して行うことで、地域信頼される学校・期待される学校を創造していきたい。また、学級担任による日頃の対応が家庭との信頼づくりの基盤となっているので、今後も丁寧に向き合って対応していきたい。

## (4) 魅力ある学校づくり ○めざす教師像について

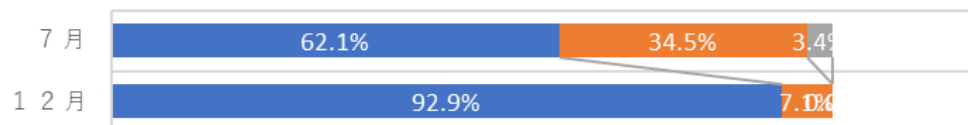
あなたは、教員かつ公務員としての職責を果たすために  
サービス規律の確保に努め、研修を行っている。

■ 4 そう思う ■ 3 だいたいそう思う ■ 2 あまりそう思わない ■ 1 そう思わない



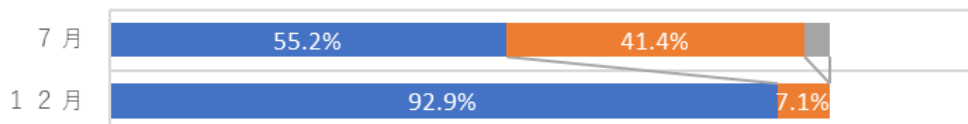
あなたは、円滑な学校運営の実現のために校務分掌に  
基づき、協働して職務を遂行している。

■ 4 そう思う ■ 3 だいたいそう思う ■ 2 あまりそう思わない ■ 1 そう思わない



あなたは、保護者や地域住民等と望ましい人間関係を  
築くことに努めている。

■ 4 そう思う ■ 3 だいたいそう思う ■ 2 あまりそう思わない ■ 1 そう思わない



### 学校教育目標・学校経営について【意見・感想】

- ・児童とのコミュニケーションを積極的にとれる教師を目指したいです。
- ・子どもたち一人ひとりが安心した学校生活を送ることができるよう、努めていきたい。
- ・わかって楽しく学べる授業に力を入れていきたいと思います。
- ・年々保護者対応の難しさを感じていますが、関係者との協議を大事にしたいと思います。
- ・任された仕事に取り組んでいます。
- ・保護者に電話するときは、基本、児童のマイナスの表れになってしまいました。
- ・ふれあい祭りや押杜っ子クラブなどCS推進校として、特色ある学校づくりが進んでいると思うが、職員への負担が大きいため、持続可能な形を求めている。
- ・保護者の方と望ましい人間関係を築いていくために、連絡を取り合いながら子どもの様子を伝えていきたい。

### (4) 魅力ある学校づくり ○めざす教師像について【まとめ】

教師に求められる姿として「変化を前向きに受け止め、教職生涯を通じて学び続けること。子供一人ひとりの学びを最大限に引き出す役割を果たすこと。子供の主体的な学びを支援する伴走者としての能力も備えていること。」が中教審に示されている。今年度も、学校長のリーダーシップのもと、全職員が協働して魅力ある学校づくりに努めてきた。一人一人が自分事として職務に当たり、力を発揮してきたことが、今年度の成果に直結したと言える。今後は、働き方改革ワークショップを受けた実効的な改革を進め、誰もが負担感なく、力を発揮できるような職場環境づくりをしていくことが求められる。児童の「笑顔」でいるためには、まずは教師が「笑顔」でいられることが大切であるということを再確認し、まとめとしたい。

## (2)「保護者アンケート」結果と考察

押原小学校 令和7年12月実施

学校教育目標					
ともに学び合い、心豊かにたくましく生きる子どもの育成					
自分の考えをもち、自ら学ぶことができる子(知)…かしこい子 豊かな心を持ち、人を思いやることができる子(徳)…やさしい子 心と体をきたえ、最後までやり抜くことができる子(体)…たくましい子					
※(4)そう思う (3)ややそう思う (2)あまりそう思わない (1)そう思わない				割合(%)	
評価項目		(1)	(2)	(3)	(4)
生徒指導	① 児童は、生き生きと学校生活を送っている。	64	32	3	1
	② 教職員は、児童を理解し、相談事や悩み事に適切に応じている。	62	35	3	0
	③ 学校は、児童の望ましい生活や人間関係づくりのための指導が行われている。	57	39	5	0
学習指導	④ 教職員は、分かりやすい授業に努めている。	61	36	4	0
	⑤ 教職員は、思考力や表現力などを高める授業に努めている。	58	38	3	0
	⑥ 学校は、児童の道徳心を高める指導が行われている。	52	44	4	0
	⑦ 学校は、児童の体力向上や健康の保持増進のための指導が行っている。	52	46	2	0
	⑧ 学校は、家庭学習で家庭と連携が図っている。	46	46	7	0
児童の安全確保	⑨ 学校は、児童の安全な登下校のために安全指導を行っている。	62	34	4	0
	⑩ 学校は、災害や犯罪発生を想定した対応に取り組んでいる。(避難訓練・引き渡し訓練・防犯訓練・救急法講習会等)	69	31	0	0
	⑪ 学校は、児童の健康管理の対策に適切に取り組んでいる。(熱中症対策・感染症対策等)	66	30	4	1
学校・保護者の連携	⑫ 学校からの通知やお便り、ホームページなどは、保護者に必要な情報を伝えている。	68	27	4	0
	⑬ 家庭訪問・個別懇談・授業参観などは、教職員と保護者が相互に理解を深めたり課題を共有したりする機会になっている。	63	37	1	0
	⑭ 学校は、保護者の意見や要望に対して適切に対応している。	66	32	2	0
	⑮ コミュニティ・スクールとして、学校と地域との連携を深める取組が行われている。	68	32	0	0

### 【まとめとして】

すべての項目において、9割以上の肯定的な回答をいただくことができた。このことから今年度、学校が行ってきた教育活動は、支持をされていたとの結果となる。

その中で、数値が向上した項目は、「⑩災害や犯罪発生を想定した対応」と、「②児童を理解し、相談事や悩み事に適切に応じている。」・「⑭保護者の意見や要望に対しての適切な対応」である。このことは、今年度の取組の大きな成果であるといつてよい。「⑩災害や犯罪発生を想定した対応」については、急な雷雨等に依る留め置き措置の対応や、台風接近に伴う事前の連絡等がこのような結果につながったものと考えられる。「⑭保護者の意見や要望に対しての適切な対応」については、「スピードは誠意」の合言葉のもと、スピード感のある対応を心掛けるとともに、相手の立場に立った対応を教師一人一人が意識して取り組んだ成果である。また、「②児童を理解し、相談事や悩み事に適切に応じている。」については、日頃の児童理解を丁寧に行い、いじめアンケート等を有効に活用しながら、相談体制を確立してきた成果であると言える。これらのことは、自信をもって来年度に引き継いでいきたい事項である。

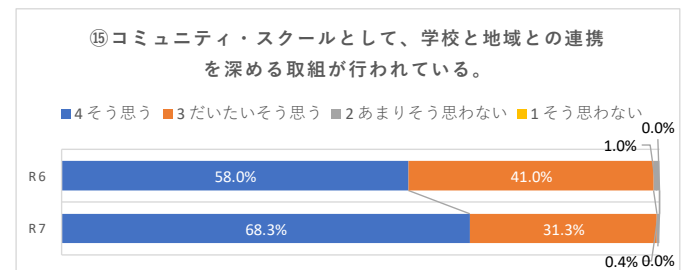
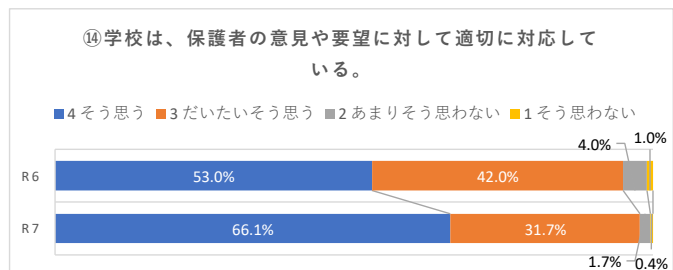
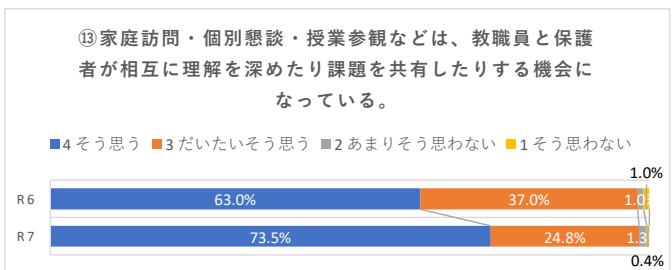
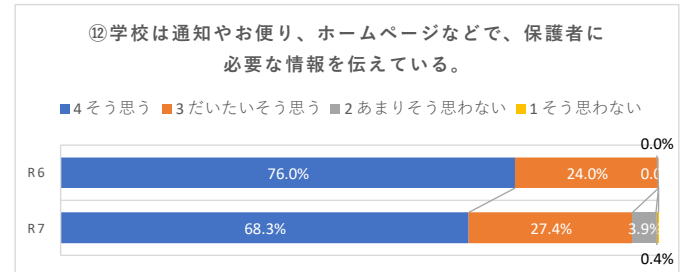
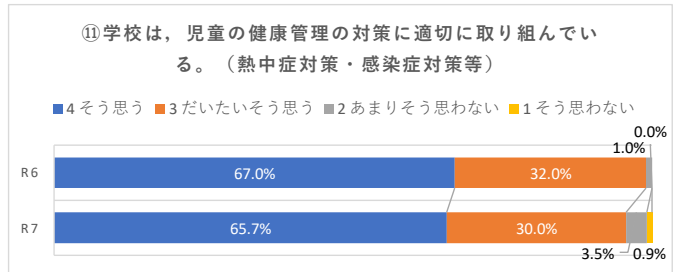
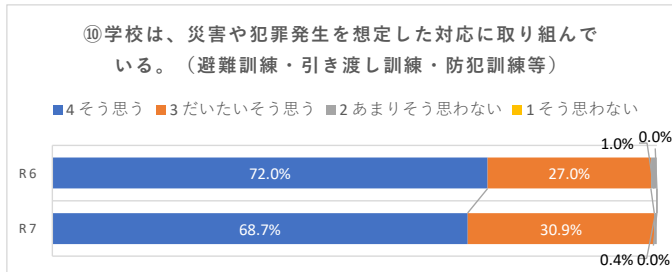
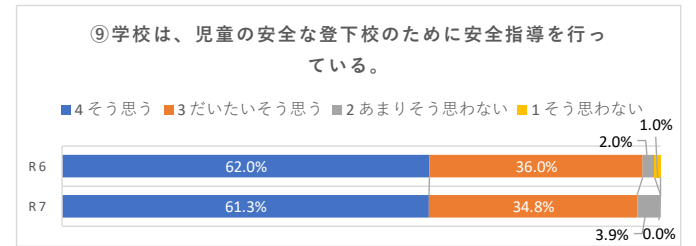
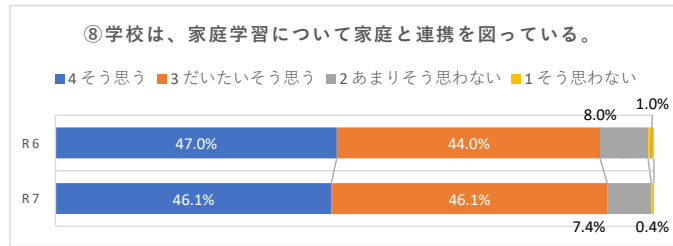
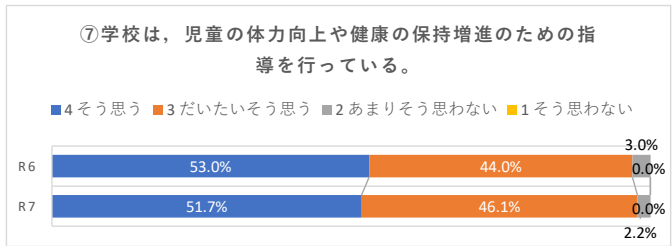
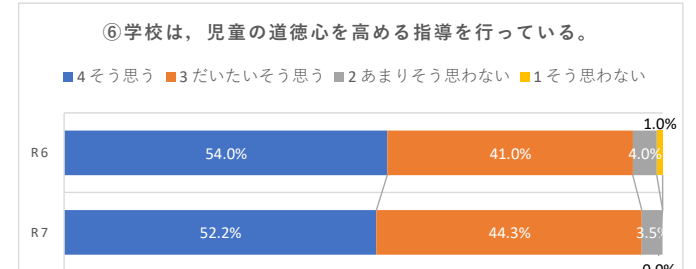
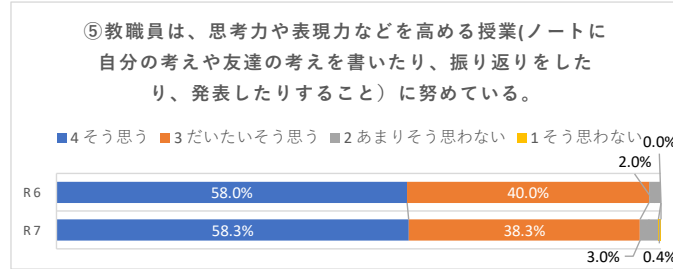
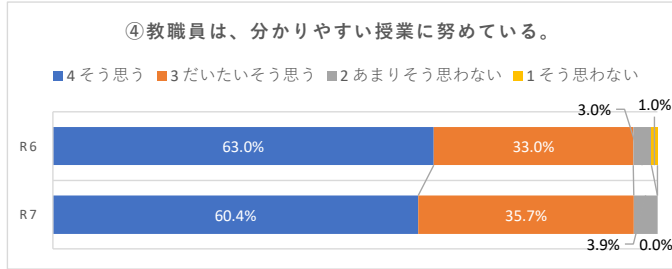
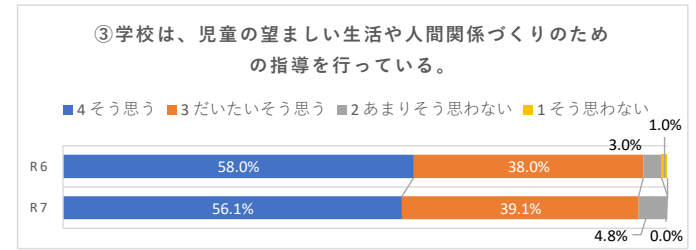
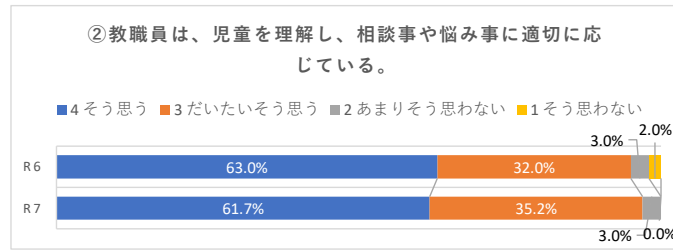
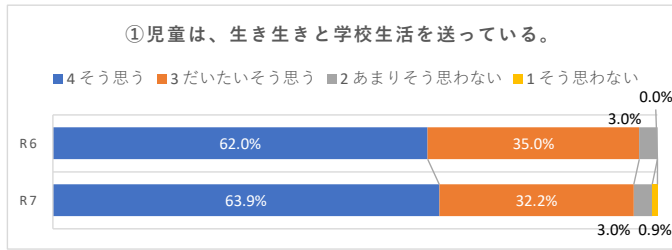
一方、肯定的な数値が減少したものに目を向けることで、次年度、課題として取り組まなければならないことが見えてくる。「⑪児童の健康管理の対策に適切に取り組んでいる。(熱中症対策・感染症対策等)」では、運動会の実施時期についての意見が多く見られた。運動会の実施時期については、教育委員会の指導を受けながら、より適切な時期に行えるよう検討をしていきたい。「⑫通知やお便り、ホームページなどで、保護者に必要な情報を伝えている。」については、学校ホームページや紙面でのお便り、連絡メール等を活用し、適時適切に情報発信を行ってきたい。

全体的な評価としては、肯定的な意見ではあるが、自由記述に合った貴重な意見にも次年度より良い学校教育を行う上でのヒントが隠されていると考える。具体的には、指導に対しての意見がいくつか見られた。このことについては、今回の学校評価時に限らず、意見を頂くたびに対応や指導を重ねてきている。また、職員全体でも共有し、「安心安全な学校づくり」につながる大切な部分であることを確認してきている。このことについては、人権意識や指導技術といった教師の根幹にかかわる部分であるので、継続した個別の指導・全体での取組を行ってきたい。それ以外の御意見については、よく検討したうえで、改善につなげていきたい。

また、自由記述の中には、これまでの取り組みを認めてくださる意見もみられた。これは、私たち教員にとって大変勇気づけられるものである。多くの保護者の理解の中で押原小学校の教育を進めることができていることに心から感謝したい。

## 【主な意見】

<p>・年 組の下校時刻がいつも案内よりも早い時間になっています。年 組は案内通りで守ってます。組の友達が長時間(20分位)待たないので、組の子供が1人で下校してきて危険を感じています。</p>
<p>・6年生になるタイミングでのクラス替えについては、あまり賛成ではありません。修学旅行は今まで一緒に過ごしたクラスメイトと行かせてあげたいと思います。よろしくお祈りします</p>
<p>・いつもありがとうございます。</p>
<p>・いつもありがとうございます。子ども達の成長や特徴に合わせて丁寧な対応ありがとうございます。学校への希望ではないと思うんですが、授業参観など子どもが発表しているのにママ達のおしゃべりがずっと聞こえているのが気になってしまうことがあります。私に気がしすぎるかもしれませんが…</p>
<p>・いつもありがとうございます。毎日、楽しそうに登校していて、ありがたいです。先生方の御尽力に感謝します。</p>
<p>・いつもお世話になっております。ご指導、ありがとうございます。運動会がいつが適切な時期なのかわかりませんが、練習の時期は、子ども、先生方、双方の体調が心配になります。また、旗振り当番のバッグにあるカップですが、雨天時使用とのことですが、使うと天気が悪いので乾かしてから回すのが難しいです。過去にカップを使用した際は、カップのフードを被ると左右の確認時に視界が遮られて全く見えず危険だったため、フードを外すしかありませんでした。傘の使用を検討して頂ければと思います。よろしくお祈り致します。</p>
<p>・いつもご指導ありがとうございます。</p>
<p>・いつも子どものために一生懸命にご指導いただき、ありがとうございます。今後も安心して楽しい学校生活を送ってもらいたいと願っていますので、どうぞよろしくお祈り致します。</p>
<p>・いつも子供ひとりひとりと向き合い寄り添っていただけ、本当に感謝しております。ありがとうございます。</p>
<p>・お世話になっております。学校での出来事や、食事の時間に毎日話してくれます。その内容は、どれも充実した内容ばかりで、聞いていてとても心あたまる内容です。学校での行事も親子共々楽しめ、学べる内容でありがたく思っております。押原小学校の生徒として、日々楽しく過ごさせていただいていること、心より感謝しております。</p>
<p>・子どもが学校を楽しいと言います。特性にも対応いただき感謝ばかりです。ありがとうございます。</p>
<p>・ほとんどの先生は子どものために考え指導してくださっていますが、一部子どもにとって不適切な先生もいらっしゃるようです。</p>
<p>・子供が毎朝元気に登校しています。先生方のおかげだと思ってます。</p>
<p>・もう少し先生と話をする機会があると学校での様子を理解できるかと思います</p>
<p>・運動会の実施時期をもう少し暑い時期からずらしてほしい。練習時期がまだまだ暑いので。</p>
<p>・学校からの通知やお便りについてです。週案と、学年便り、月便りなどを作っていたいただき、大変助かっております。ひとつ、帰宅の時間(特別日課や他の曜日の6校時)の予定を、町の広報のページで初めて知る事が多くあり、習い事や仕事の調整がうまくいかない事が何度かありました。可能であれば、帰宅の時間、イベントや持ち物など、一つの便りにまとめていただくことより分かりやすく、広報より早く学校の便りで帰宅時間予定を知れると、親として大変助かります。ご検討いただけますと幸いです。</p>
<p>・学校に行きたくない。と登校を渋った時に、担任の先生がとても親身になって親の考えやわが子の思いを聞いてくれました。時には、ここまで来ただけで素晴らしい!と登校そのものを褒めてくれて励ましてくれました。おかげで2学期は登校を渋ることなく通えています。とても感謝しています。</p>
<p>・学校の先生は、本当に大変な仕事だと思いますが、いい先生方に恵まれ、毎日楽しく登校しており、感謝しています。朝の登校時の、校長先生の見守りも、暑い中、寒い中、本当に感謝しています。前校長先生から始まりましたが、実際に生徒が登校する時間帯に同じ道を歩くことでわかることもあるので、とても良いことだと思います。これからも、よろしくお祈り致します。</p>
<p>・給食の時間が短いみたいなのでもう少し長くして欲しい。運動会をもう少し遅い時期にやってもらえると練習期間も熱中症の心配がなくなるのかなと思いました。</p>
<p>・教室での授業のほかに、校外学習や委員会活動などにも子ども達が積極的に参加し楽しんでいる様子が伺えて嬉しく思います。</p>
<p>・兄弟共に、担任の先生には良く子供の個性を見てくださっていて感謝しております。ありがとうございます。</p>
<p>・今後ともよろしくお祈りします</p>
<p>・子供のことで相談した際、スクールカウンセラーの提案をしていただけて助かりました。違う角度から解決に向かえたらと思います。</p>
<p>・子供達一人一人と丁寧に向き合ってくださっているおかげで、安心して学校に送り出すことができています。ありがとうございます。</p>
<p>・集金を子供に持たせるのが不安なので引き落としにして欲しいです。</p>
<p>・少し行き過ぎかなあと思うような指導が入っていることを、子どもから聞くことがあります。</p>
<p>・色々言いたいことはありますが、言っても仕方ないと諦めています。聞かないからこちらも言わざるおえない状況があるのはご承知おき下さい。</p>
<p>・親身に教育活動にご尽力いただき、日頃より大変感謝しております。我が子達は入学当初から楽しくイキイキと学校生活を送っていて、保護者としてはとても嬉しく思っています。学校での出来事や今後の学校生活について、相談にのっていただいたり、お忙しい中対応をしていただいたりと感謝の気持ちでいっぱいです。日々我が子達が成長している姿に感無量です。引き続き、どうぞよろしくお祈り致します。</p>
<p>・進級する度に精神面でも学習面でも子供の成長を実感しています。これも児童の皆さんの思いやりや先生方の教育の賜物と思えます。ありがとうございます。</p>
<p>・先日行われたCS感謝の集いですが、地域の皆さんを招待し来校されとても賑やかでしたし、児童も大変よく頑張り素晴らしい発表だったと思います。授業の一環のため撮影等は不可とされていましたが授業風景ではなく発表の場なので見に行けなかった他の家族に見せる事が出来たら良いのにと感じたので規制を設ける等して緩和していただきたいと思いました。</p>
<p>・全ての先生がという訳ではありませんが、子どもを1人の人として尊重し、先生の想いだけでなく、子どもたちの想いも考えて接して欲しいです。</p>
<p>・担任の先生の言動などが子供の学校へ行きたいというモチベーションにつながっていない。もう少し子ども達に寄り添って欲しい。考え方ややり方が古い。</p>
<p>・登校時間に、学校の正面入口付近の路上で車を停車させ、子どもを下ろしている方がいます。通勤に使う道路であり、また子どもの通学路でもあるので、路上で停車させての送迎はやめていただくようご注意いただきたいです。</p>
<p>・日頃から子どもたちに真摯に向き合い指導して頂いて感謝しております。</p>
<p>・毎日楽しく登校しています。ご指導ありがとうございます。</p>
<p>・様々な先生方のご指導により、よりよい方向に進んでいくことを望みます。子どもたちにとって1番身近な先生の影響は大きいと感じられる一年のような気がしました。</p>



### (3) 「児童アンケート」結果と考察

押原小学校 令和7年12月実施

学校教育目標	
<p>ともに学び合い、心豊かにたくましく生きる子どもの育成</p> <p>自分の考えをもち、自ら学ぶことができる子(知)…かしこい子                  豊かな心を持ち、人を思いやることができる子(徳)…やさしい子                  心と体をきたえ、最後までやり抜くことができる子(体)…たくましい子</p>	

		※(4) そう思う	(3) ややそう思う	(2) あまりそう思わない	(1) そう思わない	割合(%)
評価項目		(4)	(3)	(2)	(1)	
生活のこと	① あなたは、楽しく学校生活をおくっている。	71	24	3	2	
	② 先生たちは、みんなのことをわかってくれて、相談やなやみを聞いてくれる。	79	16	4	1	
	③ 先生たちは、正しいことやいけないことをしっかり教えてくれる。	92	7	1	1	
学習のこと	④ 先生たちは、わかりやすく授業をしてくれる。	78	20	2	0	
	⑤ 先生たちは、ノートに自分の考えや友達の考えを書いたり、ふりかえりをしたり、発表したりすることを教えてくれる。	81	15	4	0	
	⑥ 先生たちは、正しいことをしようと思えるように話をしてくれる。	88	11	1	0	
	⑦ 先生たちは、健康についての話をしてくれる。	82	14	4	1	
	⑧ 先生たちは、おうちでの勉強(宿題や自学)を見てくれる。	83	12	4	1	
安全のこと	⑨ 先生たちは、登校班での話や帰るときの注意をしてくれる。	85	11	3	1	
	⑩ 先生たちは、ひなんくんれんやぼうはんくんれんなど危険にそなえての活動をしてくれる。	89	9	1	0	
	⑪ 先生たちは、健康管理に気をつけ、環境を整えてくれる。(熱中症について・感染症について)	90	9	2	0	
地域のこと	⑫ あなたは、先生たちからの連絡やおたよりなどきちんとお家の人に伝えている。	72	22	4	2	
	⑬ あなたは、家庭ほうもんやこべつこんだんが終わったあとは、お家の人と学校のこと(勉強や友だちのこと)について話をしている。	63	37	7	3	
	⑭ 先生たちは、お家の人の考えをわかってくれる。(こうしてほしいという意見など)	77	18	3	2	
	⑮ 学校とちいきの人が協力しあっている。(交通安全やあいさつ、クリーン活動など)	86	12	1	1	

## 児童アンケートの考察

### 1. 生活のこと

全ての項目において肯定的な意見「そう思う」「どちらかというと思う」の割合が高く9割を超えている。引き続き、楽しい学校生活を送れるよう指導していきたい。しかしながら、「どちらかというと思わない」「そう思わない」と回答している児童もいる。個々の児童に当たって、なぜその子が「そう思わない」のか実態をしっかりと把握し、一人ひとりの居場所や活躍できる場のある学校・学級づくりにつなげていきたい。

### 2. 学習のこと

学習についても、すべての項目において、肯定的な意見「そう思う」「どちらかというと思う」の割合は高く9割を超えている。児童は、「知りたい・わかりたい・できるようになりたい」と希望を持って登校している。それにこたえられるよう、継続して、学級集団づくり・教材研究・指導法の向上等研鑽を重ねていかなければならない。そうすることで、今後も、学習について児童が「そう思う」と自信をもって答えられるよう指導の充実を図っていきたい。

### 3. 安全のこと

どの項目においても「そう思う」「どちらかというと思う」の割合が高い。運動会の熱中症対策や日頃の登校班指導等が児童に浸透している結果と言える。また、コンビニの事件への対応等も安全に留意して行い、実際の対応にも生かされていると感じているのかもしれない。今後も避難訓練、防犯・防災などに関わる授業を今後も計画的に実施していき、児童の安全に対する意識を高めるとともに、実効性のある指導を継続していきたい。

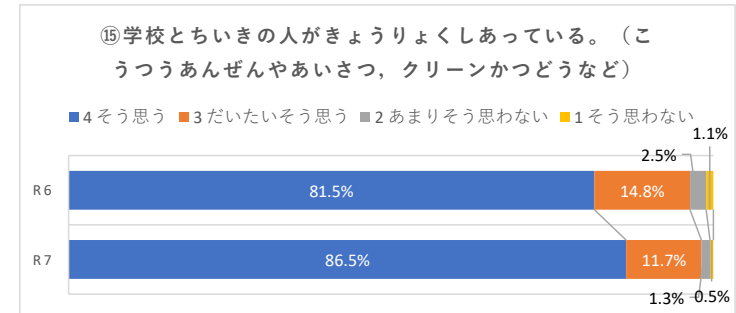
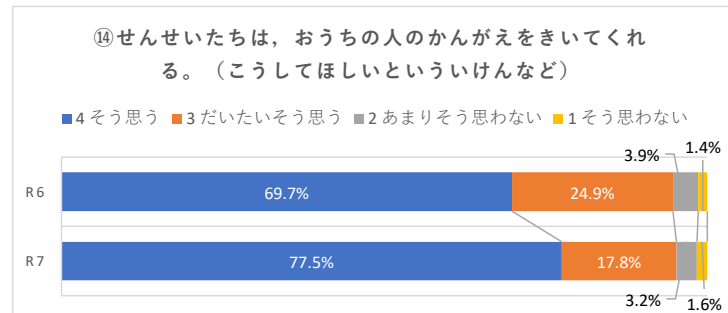
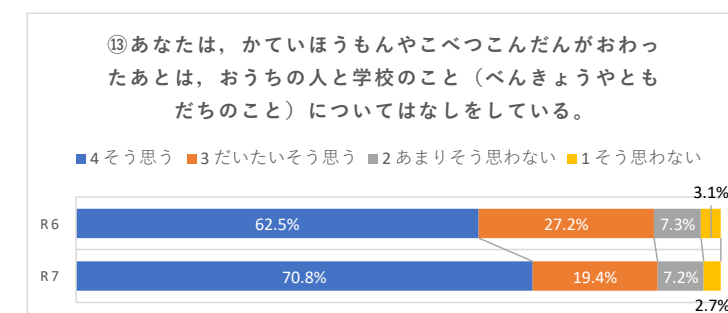
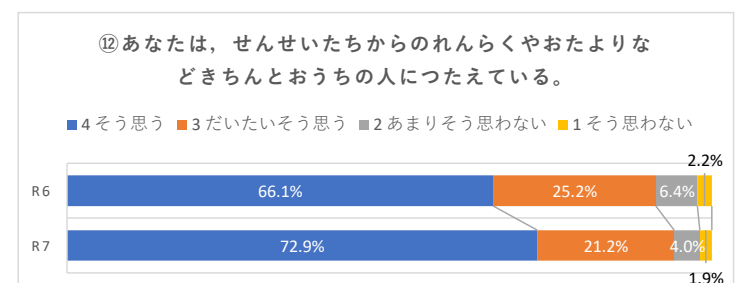
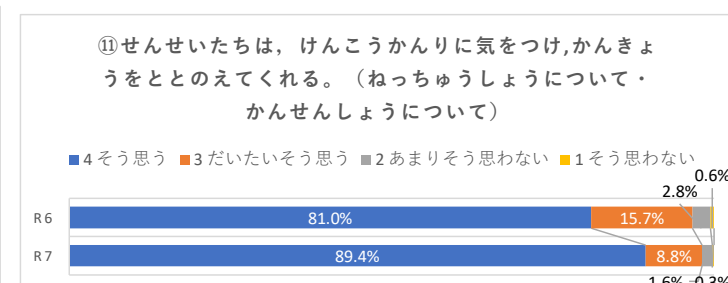
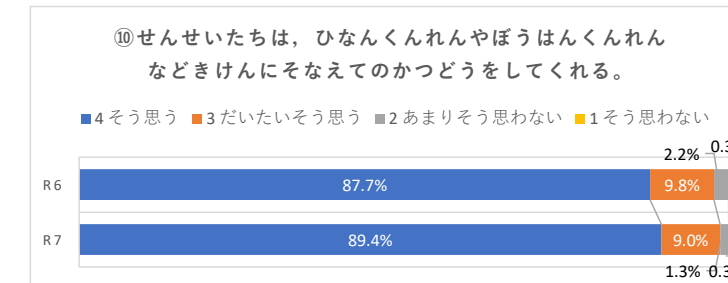
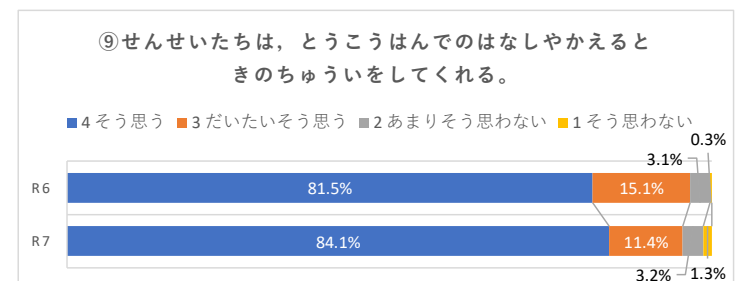
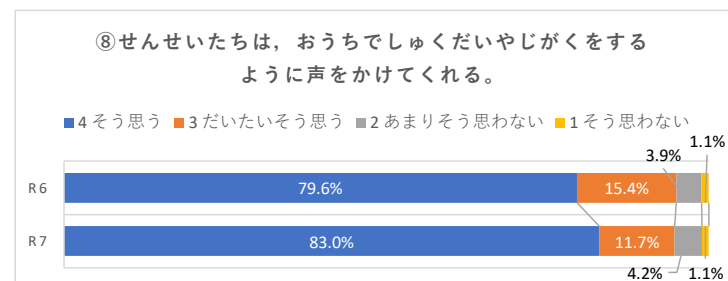
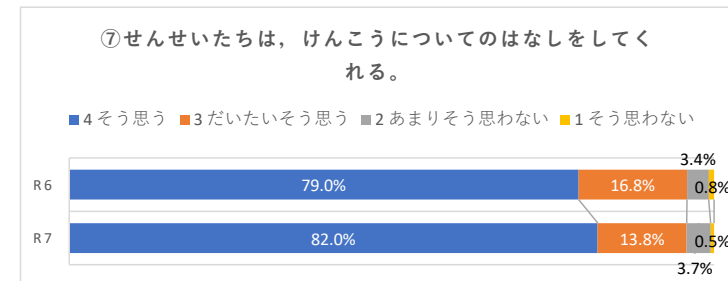
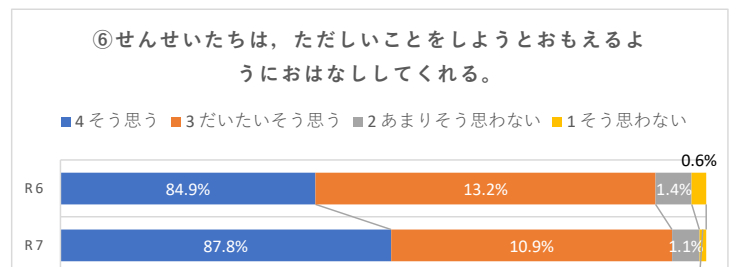
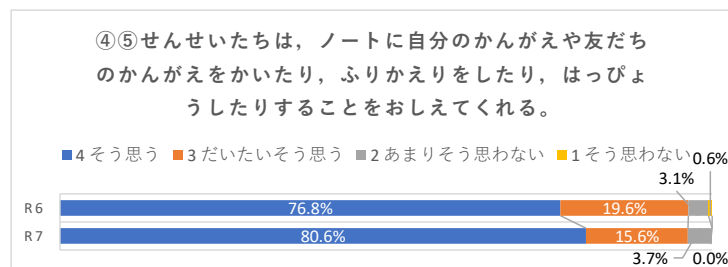
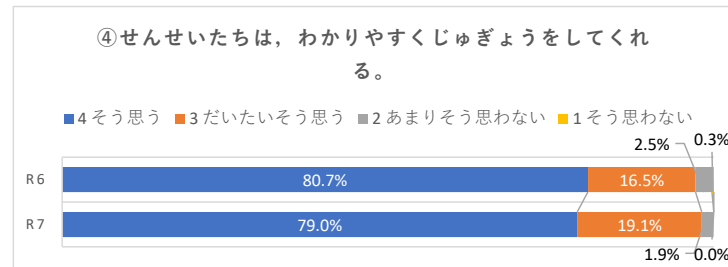
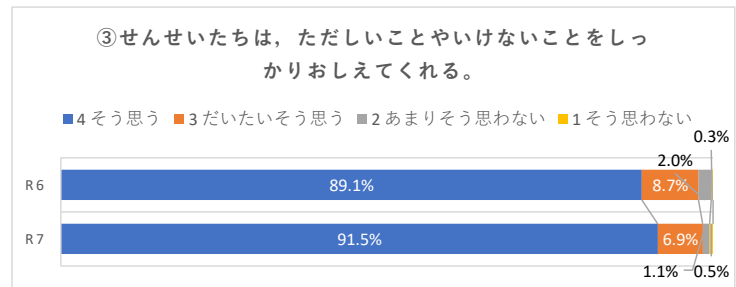
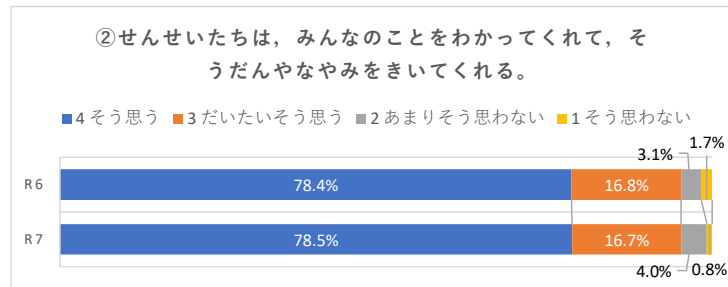
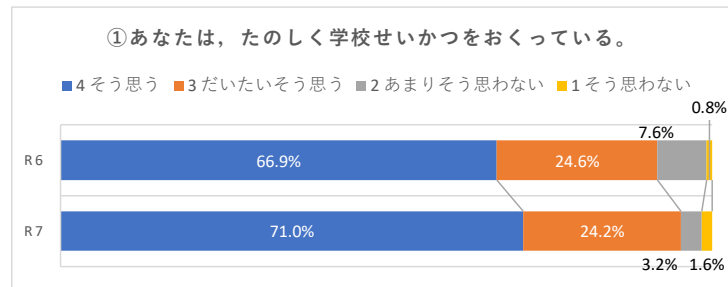
### 4. 地域のこと

全ての項目において肯定的な意見「そう思う」「どちらかというと思う」の割合が高く9割を超えている。また家庭で自分のことについて話をしているかなど問うている。⑬「家庭訪問や個別懇談が終わった後に家の人と学校の話をしている」の項目については、昨年度より肯定的な回答が向上している。家庭訪問・個別懇談後に親子で振り返るよう、お便り等で呼びかけ、より効果的になるように今後、取り組んでいくことも考えられる。また、引き続き、家庭への話題提供を積極的に行うとともに、児童が自分自身について肯定的な意識を高めていけるよう指導していきたい。

### 5. まとめ

結果については、「そう思う」「どちらかというと思う」の回答が多かったため、今年度の学校教育は達成できたといえる。しかし、少数の児童へのフォローも忘れないようにしたい。「そう思わない」・「あまりそう思わない」児童の声に耳を傾け、「だれ一人取り残さない」ように残りの3学期、改善できる点は改善し、次年度につながるような指導を行っていきたい。

# 児童アンケート結果（グラフ）



## (4) 令和7年度 学校の自己評価の結果と改善策

昭和町立押原小学校

教職員アンケート結果をもとにしながら、保護者アンケート、児童アンケートの結果もふまえて、学校の自己評価を行った。

教職員アンケートについては、評価は、7月（前期）、12月（後期）の2回行っている。保護者アンケートと児童アンケートは年1回（12月）に行っている。どのアンケートも共に、各項目における「4 そう思う」、「3 どちらかというと思う」、「2 どちらかというと思う」、「1 そう思わない」の各選択肢のポイント（%）を算出している。

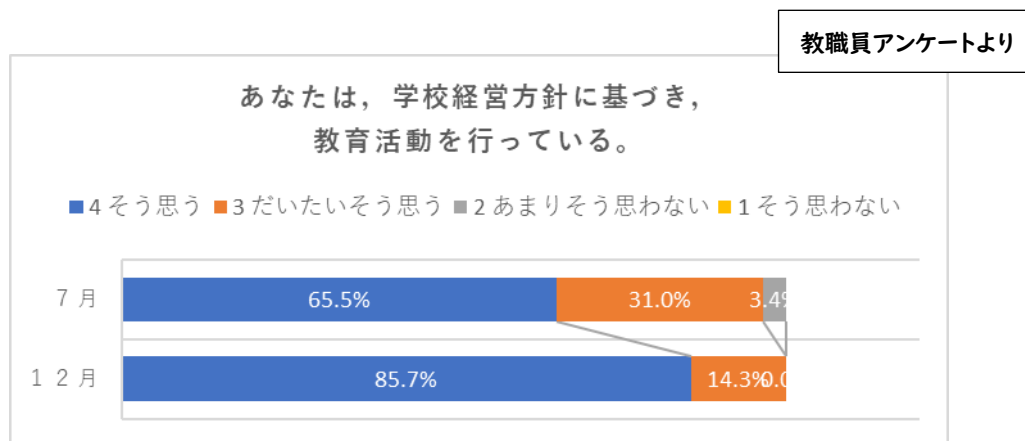
### 1 全体評価

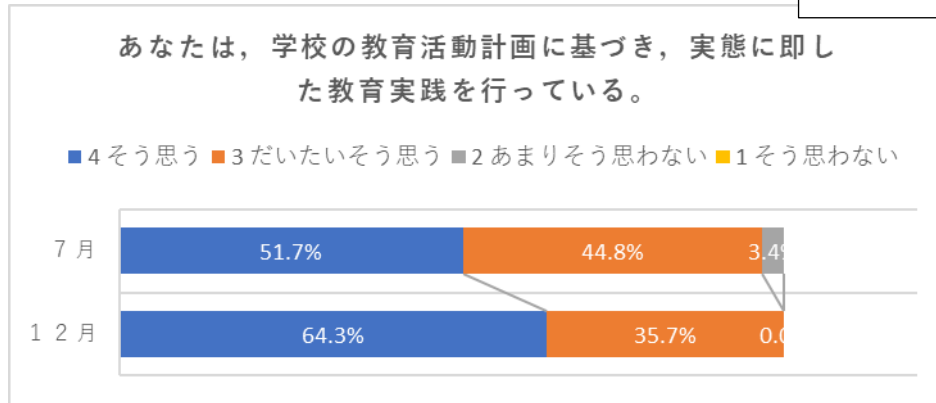
・保護者アンケート及び児童アンケートのすべての項目において、肯定的評価〔4（そう思う）と3（どちらかというと思う）〕が9割を超えており、本校の今年度の教育活動についておむね理解が得られていると考える。

### 2 項目ごとの評価結果

#### 【学校教育目標・学校経営について】

肯定的な評価が多く、1年間を通して、学校教育目標・学校経営方針を各自が意識しながら教育活動を行ってきたことがうかがえる結果となった。前期よりも後期の方が肯定的な回答が増えていることから、より、各職員が意識して職務に当たったと考えることができる。学校教育目標は、押原小の教育を進めていく上での拠り所なる大切なものであるため、PDCA サイクルを生かした教育実践は、すべての活動に通じる大切な考え方であるため、今後、成果をチェックし(C)、次年度につなげていく(A) ことができるよう、3学期をまとめの学期として位置づけ、次年度の押原教育がより充実したものとなるように、教育要綱や教育課程の作成、年間行事予定の編成をしっかりと行っていきたい。



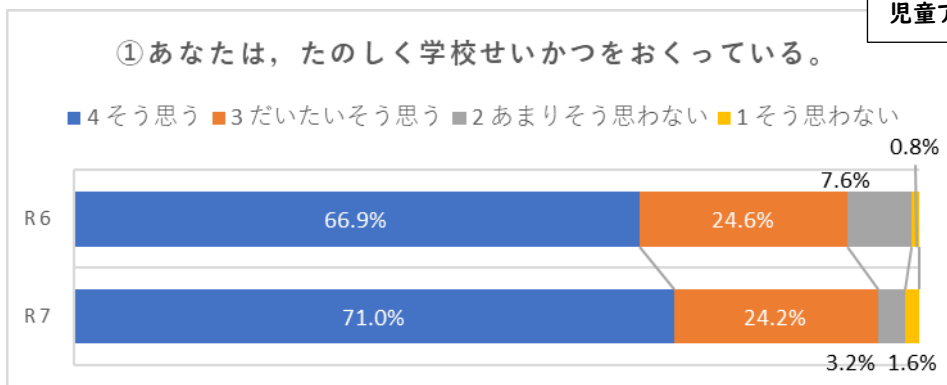
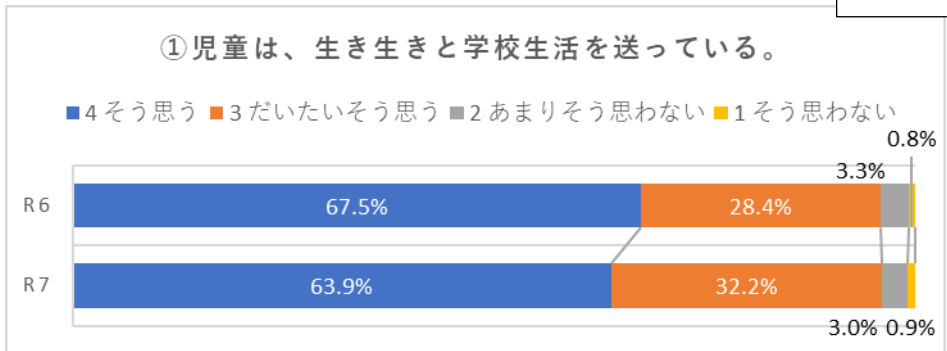


**【今年度の重点目標について】**

**(1) 安心・安全の保障**

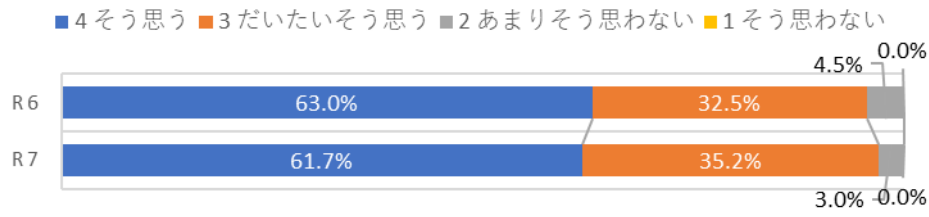
**○生徒指導について**

この項におけるアンケート結果は保護者・児童ともに肯定的評価が、90%以上となっている。児童については、「①児童は、生き生きと学校生活を送っている。」の項において「そう思う」の回答が昨年度よりも増えている。保護者についても肯定的な評価が昨年度から継続して高い値を示している。これらのことから、児童が安心して楽しい学校生活が送れるように、自己肯定感や有用感を得られるように、より一層、努力していく必要がある。



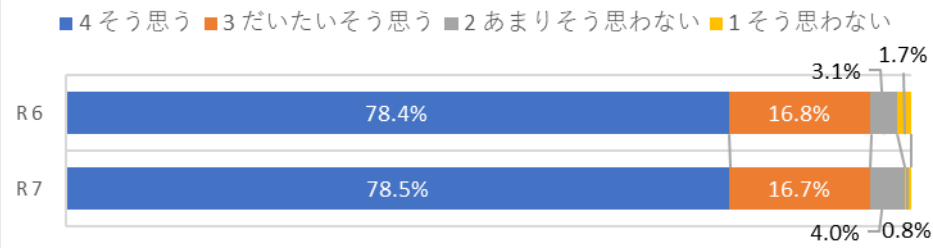
保護者アンケートより

②教職員は、児童を理解し、相談事や悩み事に適切に応じている。



②せんせいは、みんなのことをわかってきて、そだんやなやみをきいてくれる。

児童アンケートより



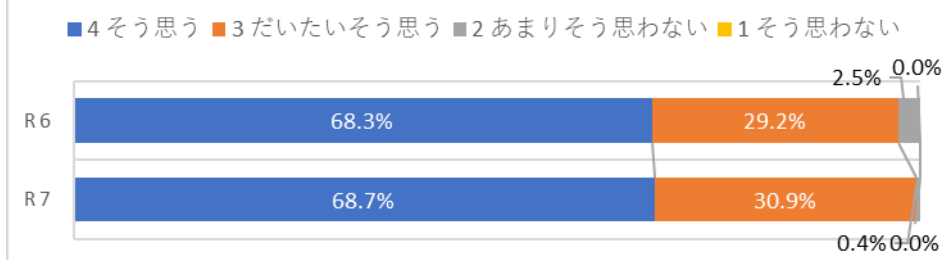
### ○安全指導について

教職員・保護者・児童アンケートにおいて肯定的評価となっている。保護者アンケートでは、「⑩災害や犯罪発生を想定した対応に取り組んでいる」項において肯定的な回答が昨年度よりもわずかではあるが増えている。今年度は、突然の雷雨により下校を中止し、保護者のお迎え・引き取り措置を行った。また、熱中症対策についても養護教諭を中心に家庭の協力を仰ぎながら適切に取り組むことができた。今後も急な事象にも適切に対応できるよう。危機管理マニュアルの見直しも含め、全校体制で取り組んでいく必要がある。

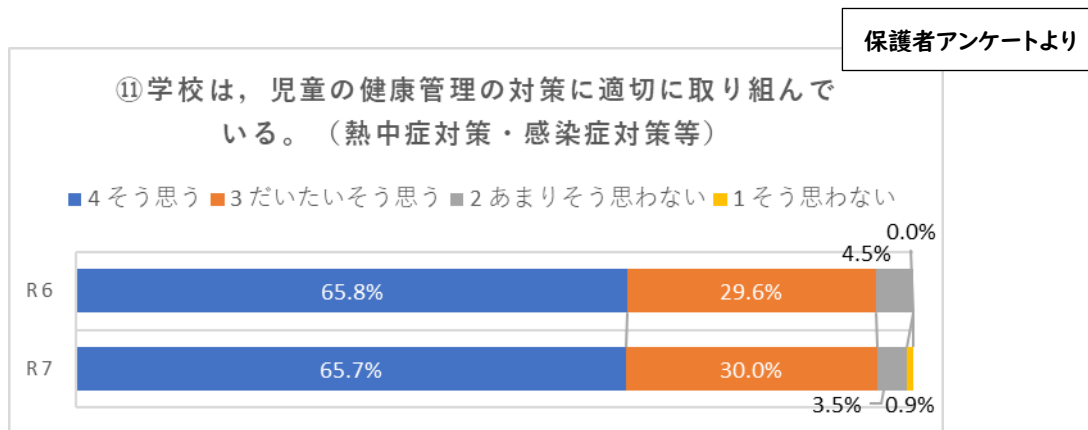
通学路の安全対策では、長年、保護者の方々に通学路の危険箇所を親子で確認する取組を行っている。それらをリストとしてまとめ、「地区懇談会」や「押杜っ子を守る会」で意見集約し、地区ごとに要望として町にお願いをしている。たくさんの要望をすべて実現していくことは難しいが、継続して要望を続けていく。

保護者アンケートより

⑩学校は、災害や犯罪発生を想定した対応に取り組んでいる。（避難訓練・引き渡し訓練・防犯訓練等）



「⑩児童の健康管理への対策」については、熱中症への不安がうかがえた。特に運動会については、実施時期を含め、不安に思っているという意見が寄せられている。運動会の実施時期を可能な限り見直していき、今後も学校の安心・安全のために対応していきたい。

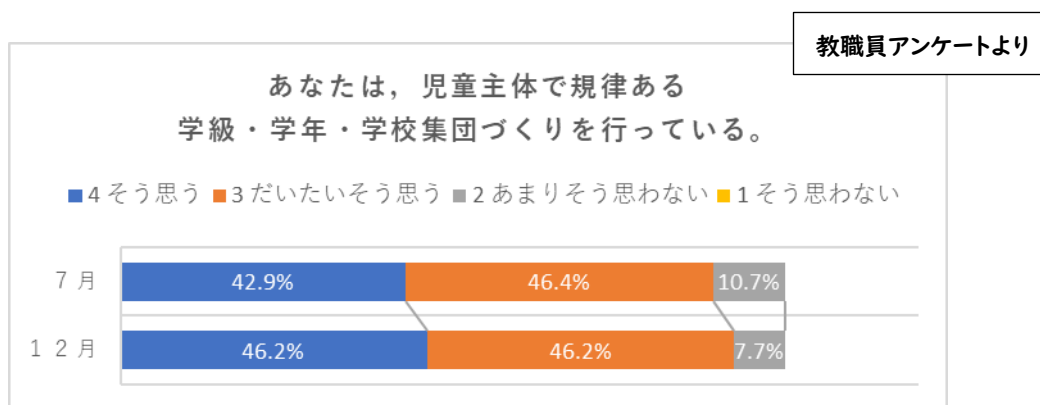


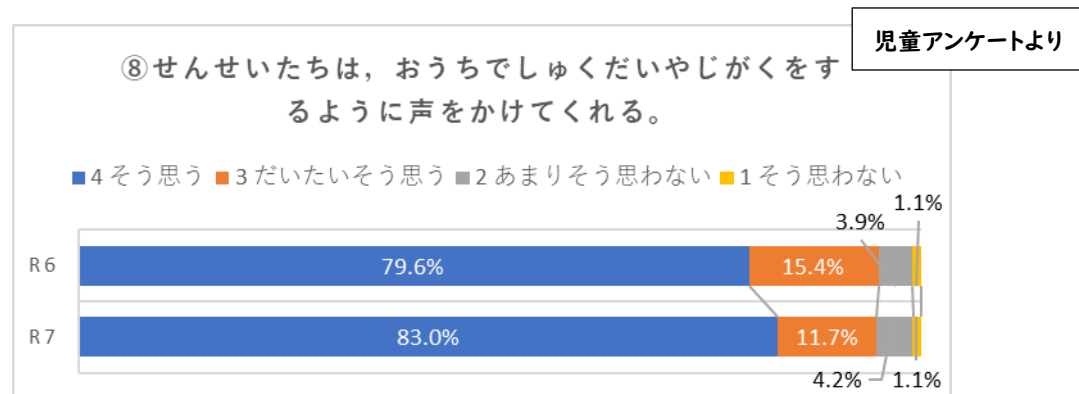
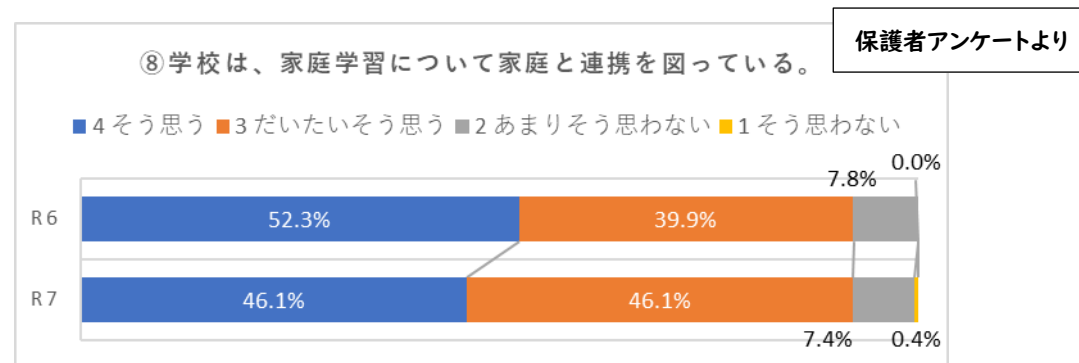
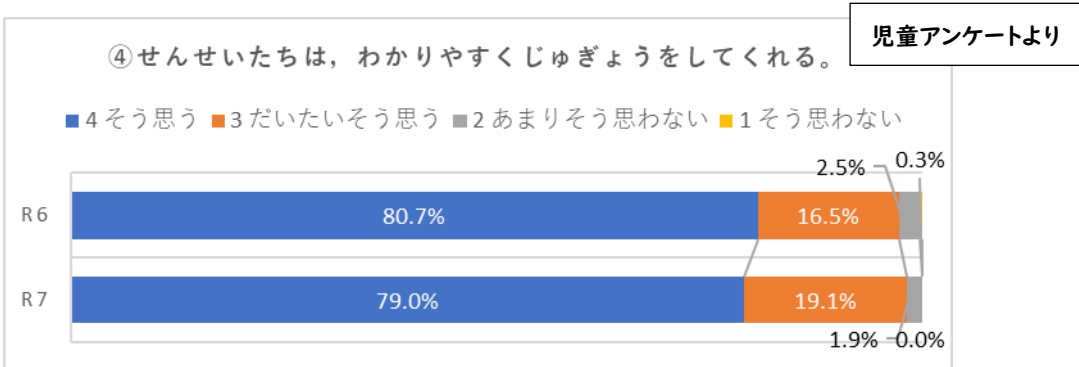
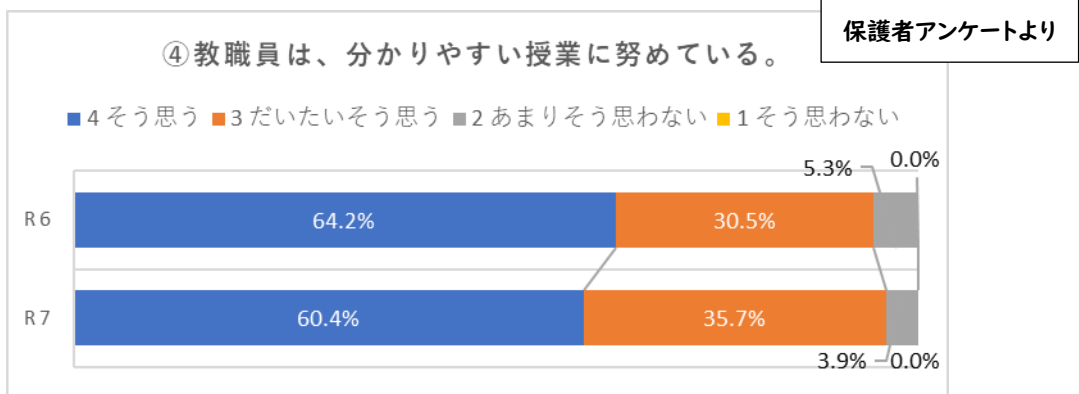
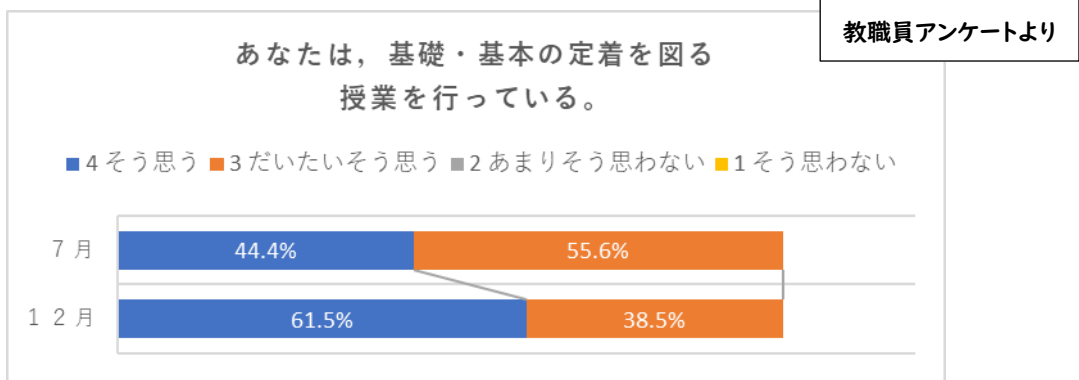
## (2) 学力の保障

学級、学年等の集団づくりに関して、肯定的な回答が向上した。今年度、校内研の一つの柱として、武蔵野大学の渡辺先生を講師に集団づくりについて、学習会を開いたことも意識の向上につながったと考えられる。思考力や表現力を高める授業に関しては、思い描いていたような結果とならなかったのか、「あまりそう思わない」の回答が見られる。教師が自身の知識を伝達するだけの授業では、思考力・表現力の育成はできないので、常に指導力の向上を心掛けたい。また、一人一台端末の活用についても、活用が十分ではない結果となっているので、この点についても教師のリテラシーの向上が求められる。

道徳教育については、継続した授業実践を積み重ね、道徳的实践力を高めてきた。道徳の授業を基盤として豊かな人間性をはぐくむことを目指し、今後も取り組みを続けていきたい。

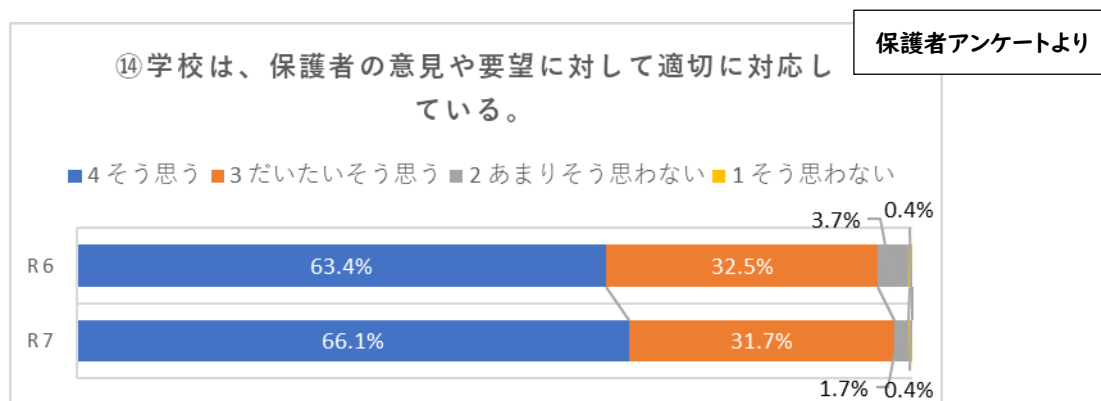
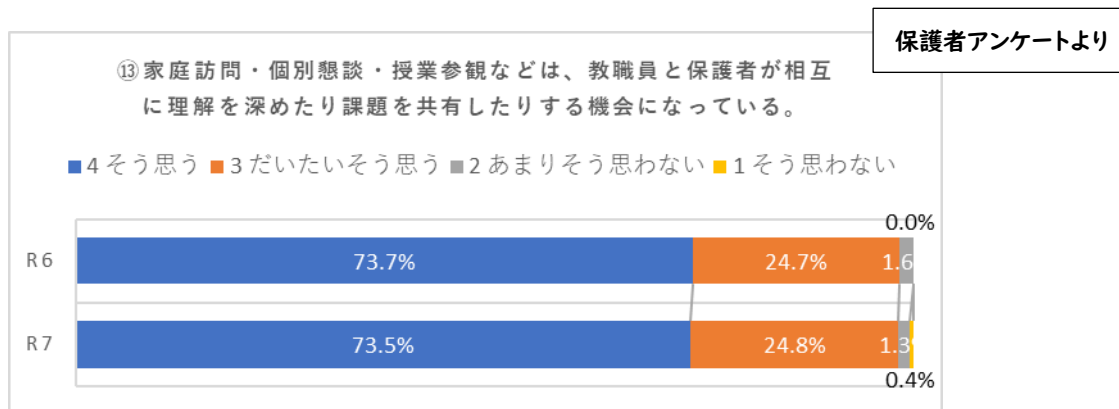
家庭学習については、取組の継続により、児童にも家庭にも浸透してきていることがうかがえる。押原小の家庭学習のスタイルで、次年度も継続して取り組んでいきたい。





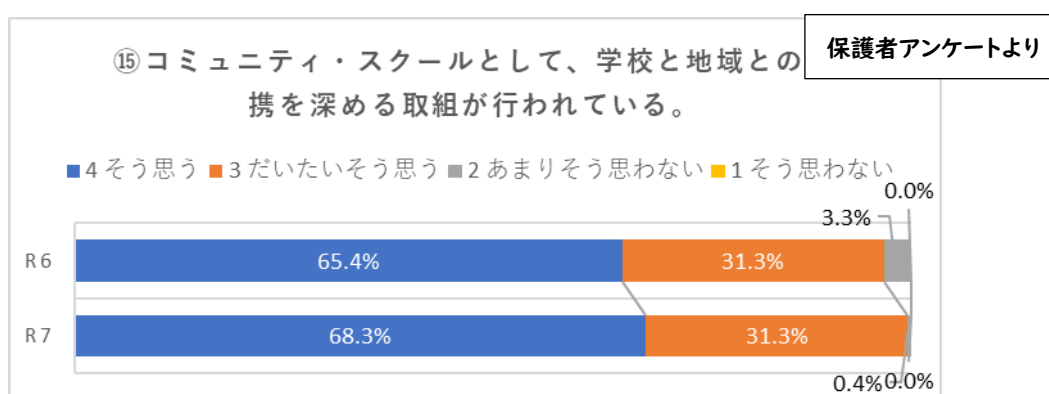
### (3) 信頼の醸成

学校と家庭が相互に連携し、児童の指導にあたっていくことが何より大切である。「⑭保護者の意見や要望に対して適切に対応している」の肯定的な値が向上したことは、よりよい連携が行えたことの表れであると言える。また、家庭訪問・個別懇談・授業参観等は、例年通り有効に機能していることも結果から読み取れる。今後も連絡帳や電話等を効果的に使い、今後も信頼の醸成に向けて努力していきたい。



### (4) 参加の促進

コミュニティ・スクールの取組に関しては、CSに関する町の重点校の指定も受ける中、持続可能な形を模索しながら、取り組みを継続してきた。「押杜っ子を守る会」「地区懇談会」「押杜っ子CLUB」「CS感謝の集い」と、押原小のCSを代表する取り組みを今後も継続して取り組み、「地域に開かれた学校」としてあり続けたい。



## 2 学校関係者評価

## (5) 学校関係者評価書

実施日 令和8年2月25日(水) 13:30~15:15

会場 押原小学校 図工室

参加者 学校運営協議会 委員13名

### 1 学校から提案された資料

- ・令和7度 自己評価  
令和7年度の自己評価の結果と改善点  
児童アンケートの結果  
保護者アンケートの結果  
教職員アンケートの結果と考察

### 2 協議された主な内容

- ・令和7年度 学校の自己評価に関する質疑・意見
- ・来年度に向けての意見・改善策

#### ○自己評価の概要

- ・保護者・児童アンケート(各15項目)全てにおいて、肯定的評価【1そう思う 2ややそう思うの合計】が9割を超えている。本年度の教育活動について、おおむね目標を達成し、理解が得られていると考える。

#### 【学校教育目標・学校経営について】

肯定的な評価が多く、1年間を通して、学校教育目標・学校経営方針を各自が意識しながら教育活動を行ってきたことがうかがえる結果となった。前期よりも後期の方が肯定的な回答が増えていることから、より、各職員が意識して職務に当たったと考えることができる。学校教育目標は、押原小の教育を進めていく上での拠り所なる大切なものであるため、PDCA サイクルを生かした教育実践は、すべての活動に通じる大切な考え方であるため、今後、成果をチェックし(C)、次年度につなげていく(A)ことができるよう、3学期をまとめの学期として位置づけ、次年度の押原教育がより充実したものとなるように、教育要綱や教育課程の作成、年間行事予定の編成をしっかりと行っていきたい。

## 【今年度の重点目標について】

### (1) 安心・安全の保障

生徒指導に関わる内容では、保護者・児童ともに肯定的評価が、90%以上となっている。児童については、「①児童は、生き生きと学校生活を送っている。」の項において「そう思う」の回答が昨年度よりも増えている。保護者についても肯定的な評価が昨年度から継続して高い値を示している。これらのことから、児童が安心して楽しい学校生活を送れるように、自己肯定感や有用感を得られるように、より一層、努力していく必要がある。

安全指導については、保護者アンケートでは、「⑩災害や犯罪発生を想定した対応に取り組んでいる」項において肯定的な回答が昨年度よりもわずかではあるが増えている。今年度は、突然の雷雨により下校を中止し、保護者のお迎え・引き取り措置を行った。また、熱中症対策についても養護教諭を中心に家庭の協力を仰ぎながら適切に取り組むことができた。今後も急な事象にも適切に対応できるよう。危機管理マニュアルの見直しも含め、全校体制で取り組んでいく必要がある。

通学路の安全対策では、長年、保護者の方々に通学路の危険箇所を親子で確認する取組を行っている。それらをリストとしてまとめ、「地区懇談会」や「押杜っ子を守る会」で意見集約し、地区ごとに要望として町にお願いをしている。たくさんの要望をすべて実現していくことは難しいが、継続して要望を続けていく。

「⑪児童の健康管理への対策」については、熱中症への不安がうかがえた。特に運動会については、実施時期を含め、不安に思っているという意見が寄せられている。運動会の実施時期を可能な限り見直していき、今後も学校の安心・安全のために対応していきたい。

### (2) 学力の保障

学級、学年等の集団づくりに関して、肯定的な回答が向上した。今年度、校内研の一つの柱として、武蔵野大学の渡辺先生を講師に集団づくりについて、学習会を開いたことも意識の向上につながったと考えられる。思考力や表現力を高める授業に関しては、思い描いていたような結果とならなかったのか、「あまりそう思わない」の回答が見られる。教師が自身の知識を伝達するだけの授業では、思考力・表現力の育成はできないので、常に指導力の向上を心掛けたい。また、一人一台端末の活用についても、活用が十分ではない結果となっているので、この点についても教師のリテラシーの向上が求められる。

道徳教育については、継続した授業実践を積み重ね、道徳的実践力を高めてきた。道徳の授業を基盤として豊かな人間性をはぐくむことを目指し、今後も取り組みを続けていきたい。

家庭学習については、取組の継続により、児童にも家庭にも浸透してきていることがうかがえる。押原小の家庭学習のスタイルで、次年度も継続して取り組んでいきたい。

### (3) 信頼の醸成

学校と家庭が相互に連携し、児童の指導にあたっていくことが何より大切である。「⑭保護者の意見や要望に対して適切に対応している」の肯定的な値が向上したことは、よりよい連携が行えたことの表れであると言える。また、家庭訪問・個別懇談・授業参観等は、例年通り有効に機能していることも結果から読み取れる。今後も連絡帳や電話等を効果的に用い、今後も信頼の醸成に向けて努力していきたい。

### (4) 参加の促進

コミュニティ・スクールの取組に関しては、CSに関する町の重点校の指定も受ける中、持続可能な形を模索しながら、取り組みを継続してきた。「押杜っ子を守る会」「地区懇談会」「押杜っ子CLUB」「CS感謝の集い」と、押原小のCSを代表する取り組みを今後も継続して取り組み、「地域に開かれた学校」としてあり続けたい。

### 〈 質問・意見 〉

○電子機器の利用が進まないのはなぜか。

→(教頭)子ども一人一人がタブレットを使って課題に取り組むということは、随分進んできたが、子ども同士でタブレットを使ってやり取りをするといったところがまだまだ進んでいないので、その部分が進んでくれればよいという願いを持っている。

○(三神社会教育委員様)タブレット端末を使うことによって思考力判断力を養うという側面があるということだが、その点についてはどのように考えているか。

→(校長)端末を使うには環境を整えなければならない。ネットワークを使った学習の進め方を教師も研修によって学習しているが、それを実際に使えるようにするまでの環境づくりがまだ整っていない。教師の研修を行いながら子どもたちに還元していけるようにしたい。

○(CS 統括深沢様)基本的には、肯定的な割合がどうか、それが昨年度と比べてどうかというところが大事になってくる。それが90%を超えているのは良い傾向と考える。昨年度よりも肯定的な意見が伸びているのは、押原小学校がこの一年間押原小学校の理念を理解して教育活動を行ってきた成果ではないかと思う。一方、否定的な意見がないわけではないので、その点においては真摯に受け止め改善していけるよう考えていただきたい。

P15 には、保護者の生の意見が載せられていて、胸が熱くなる部分がある。教職員が子どもたちに寄り添って対応していることが、保護者にも伝わっていることを感じる。来年度も、引き続きこのような対応をできるよう頑張ってもらいたいと思う。

○保護者の意見を見ると、学校と保護者の信頼関係が良好であることが見える。

(説明資料)

## 「学校評価」における学校の「自己評価・各種アンケート」及び「学校関係者評価」について

学校は、法令(※)により、①学校評価を必ず行って、②その結果の公開に努めること、③自己評価は必ず行うこと、④学校関係者評価の実施に努めること、⑤学校評価(自己評価、学校関係者評価)の結果は設置者(本町の場合は町教委)に報告することになっています。

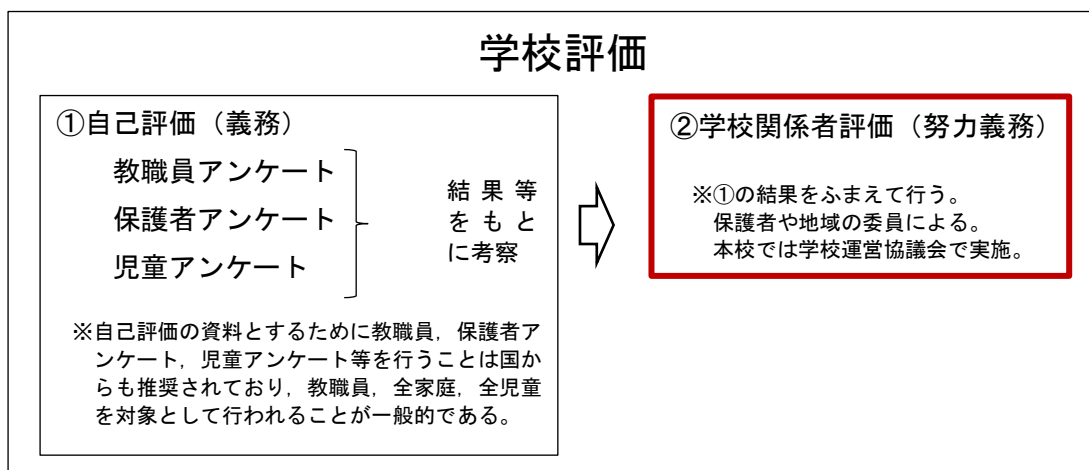
本校でも毎年、学校の自己評価と学校関係者評価によって、学校評価を行っています。

自己評価については、その資料となるよう、年2回(7月、12月)の教職員アンケートと、年1回の保護者アンケート・児童アンケート(12月)を行っています。

この内、保護者アンケートについて、本校では令和2年度より全家庭を対象として実施しています。加えて昨年度からは、さらに広く意見を収集し、より客観的なデータを得ることができるよう、全児童を対象にアンケートを実施したところです。

また、学校関係者評価について、法令では、保護者、地域住民などにより構成された委員会等が、その学校の教育活動の観察や意見交換等を通じて、自己評価の結果について評価することが基本とされています。これを受け、例年本校の学校関係者評価は学校運営協議会で行われており、本年度も、今回の協議会において委員の皆様をお願いする次第です。

なお、学校の自己評価と学校関係者評価の結果は、自己評価の資料となった教職員及び保護者、児童の各アンケートの結果も添えて、町教委に報告するとともに、本年度末までに本校ホームページ等でも公開する予定です。



※「学校評価」の実施については、以下のような法令によって定められています。

学校教育法	第42条	学校評価の実施	(義務)
学校教育法	第43条	学校評価に関する情報の公開	(努力義務)
学校教育法施行規則	第66条	自己評価の実施・公表	(義務)
学校教育法施行規則	第67条	学校関係者評価の実施・公表	(努力義務)
学校教育法施行規則	第68条	学校評価結果の設置者への報告	(義務)

上記以外に、外部の専門家等による「第三者評価」もありますが、法令上、義務・努力義務の定めはありません。